

～第9回市民サロン開催のお知らせ～

都市計画マスタープランの見直しについて、参加いただいた市民の方々と話し合いを進めます。

日程 平成25年7月30日(火) 午後7時から
 場所 調布市教育会館2階201・202会議室
 主な内容 「地域活性化と住民発意のまちづくり」をテーマとした話し合い【前半】
 ※1つのテーマにつき2回の市民サロンを実施しています。

第10回のテーマ：地域活性化と住民発意のまちづくり【後半】（8月下旬頃：予定）
 第11・12回：市への提案のとりまとめ・検証（9・10月頃：予定）

参加自由です！
 お気軽にご参加ください。

次回テーマは地域活性化と住民発意です

平成24年3月に推計した将来人口推計では、ゆるやかに増加してきた調布市の人口は、平成38年まで微増を続けると想定されていますが、同時に高齢者人口も増加を続けます。平成34年に調布市の高齢化率は約24.5%になると推測され、超高齢社会が到来すると見込まれています。地域活性化のためには、人口の流出を防ぐことや昼間人口の増加により、まちのにぎわいを創出することが重要になります。

地域活性化の取組

調布市では、京王線連続立体交差事業と一体となったまちづくりにより新たにつくられるものと、既にあるものを連携し、賑わいと環境の調和した中心市街地を目指すために、**中心市街地デザイン・コンセプト**を策定しました。

メインコンセプト

にぎわい 庭園 ちょうふ

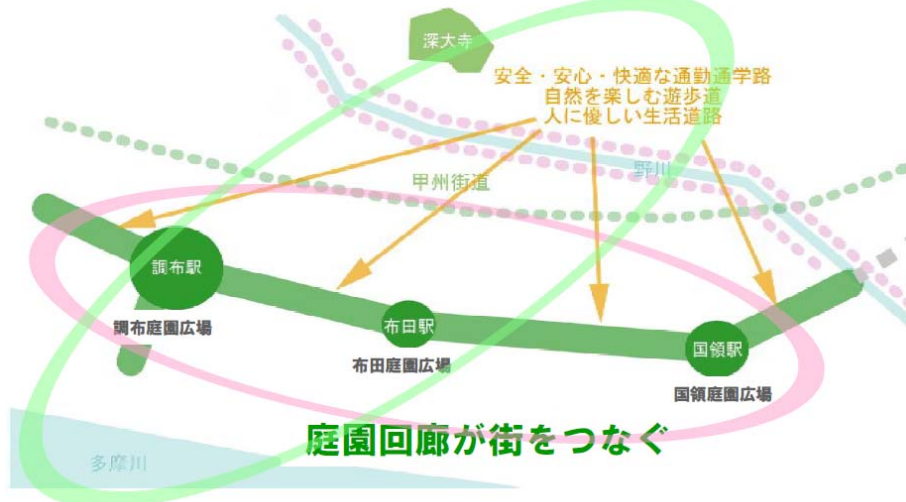
サブコンセプト

庭園広場

まちの顔である駅前広場に新たなにぎわいを創造します。「庭園の中の駅前広場」は環境との調和を目指します。

庭園通り

庭園のように四季感豊かな緑道空間で3つの駅と市内の自然をつなぎます。



調布市の取組をご紹介します

住民発意のまちづくりの取組

調布市では、市民のまちづくりに対する発意を形にするため「調布市ほっとするふるさとをはぐくむ街づくり条例」を制定しています。この条例に基づき、自らの街の将来について検討する組織として、現在は「街づくり準備会(2団体)」と、さらにステップアップした活動を進める「街づくり協議会(4団体)」が活動しています。

- 【街づくり協議会】西調布駅周辺整備街づくり協議会、国領北浦地区街づくり協議会
 深大寺通り街づくり協議会、多摩川住宅街づくり（地区計画）協議会
 【街づくり準備会】柴崎駅と周辺改善街づくり準備会、調布駅南口中央地区街づくり研究会

にぎわいのあるまちづくり、住民発意のまちづくりを進めるためにはどのような取組が必要でしょうか。市民のみなさまの様々な意見をお聞かせください。市民サロンへのご参加をお待ちしています！

■ 調布市では、マスタープランの見直し作業の過程等について、このニュースでわかりやすくお知らせしていきます。
 発行 調布市都市整備部 都市計画課 都市計画係
 Tel: 042-481-7453 Fax: 042-481-6800 mail: tikubetu@w2.city.chofu.tokyo.jp

登録番号
 (刊行物番号)
 2013 - 79

調布市

都市計画マスタープラン 見直しニュース 第9号

調布市では、長期的・総合的な視点から今後の都市計画の指針となるものとして平成10年に策定した「調布市都市計画マスタープラン」の見直し・改定に向けた取り組みを進めております。



平成25年7月22日
 調布市都市計画課発行

第8回都市計画マスタープランを考える市民サロンを開催しました

都市計画マスタープランの見直しに向けて、第8回市民サロンを6月21日(金)午後7時から開催しました。当日は15人の市民の方にご参加いただき、多くのご意見をいただきました。

▶ 第8回市民サロンの開催概要について

地球温暖化に代表される地球環境をはじめ、公園や緑地などの自然環境、地域の景観など、環境問題に対する市民の意識と関心が高まっています。第8回市民サロンでは、第7回市民サロンに引き続き、環境問題に対応したまちづくり」をテーマに話し合いを行いました。

当日は、はじめに前回の振り返りとして、市から第7回市民サロンでいただいたご意見の概要を紹介し、その後、グループに分かれてテーマをもとに話し合いを行いました。グループごとの話し合いでは、第7回市民サロンで出しあった課題を踏まえた取組・方針について話し合いました。

▶ 「環境問題に対応したまちづくり」に対していただいた取組・提案のご紹介

市民サロンで話合った内容の一部を下部と中面でご紹介します！

Aグループ

課題 都市化、宅地化が進む中で、市内の緑被率を高める新たな制度の導入・意識醸成を推進させるための取組を考える必要があるのではないか。

▼ 第8回市民サロンでいただいた取組提案

- 公園・緑地の緑を維持・保全していくため、住民が参加して維持・管理する方策を検討する。
- 生産緑地（農地）の減少を抑制するため、調布市独自の方策などを検討する。
- 調布市の魅力である緑を守り・育てるため、緑化制度等を活用しながら、緑を増やし、農地等の緑を守り育てる方策を検討する。

課題 地域固有の魅力ある風情や周辺環境に合わせ、地域の特性に応じた景観づくりを進めていく必要があるのではないか。

▼ 第8回市民サロンでいただいた取組提案

- 旧甲州街道は古くからの街並みが少なくなっているため、スポット的に旧街並みを再現し、歩きやすい、歩きたくなるような、人を中心としたまちづくりを行う。
- 旧甲州街道はビル化が進んでいるため、趣のある街並みづくりに向けて、規制・誘導方策を検討する必要がある。

課題 河川・湧水の環境整備に取り組む必要があるのではないか。

▼ 第8回市民サロンでいただいた取組提案

- 野川などは流量が減少してきているため、各戸への浸透枳の設置、浸透性の高い路面や駐車場の整備を促進するなど、水を戻す仕組みづくりを推進する。
- 調布市は水が豊かであるということをPRするため、街中や鉄道敷に水辺空間を設置し、憩いと癒しの空間を整備する必要がある。

第8回市民サロン「環境問題に対応したまちづくり」での課題に対する取組の紹介

～市民サロンでいただいたご意見を一部紹介します～

Bグループ

課題

都市化、宅地化が進む中で、市内の緑被率を高める新たな制度の導入・意識醸成を推進させるための取組を考える必要があるのではないか。

▼第8回市民サロンでいただいた取組提案

- 調布市の未来を担う子どもへの環境教育を充実させる。
- 緑を増加させ、市民等が主体となって維持管理を行う。
- 建物の高さ制限と空地(緑)の創出など、バランスのとれた街づくりのルールを検討・導入する。
- 緑を恒久的に守るために土地の公有化を推進する。

課題

河川・湧水の水環境整備に取り組む必要があるのではないか。

▼第8回市民サロンでいただいた取組提案

- 河川の水量を確保するために、マンションや道路における雨水の浸透対策を促進するとともに、水質向上のために地下水汚染対策を行う必要がある。
- 水辺環境の復元に向けて、外来種の生物の生息環境調査を実施し、在来の生態系や生物多様性に関する市民の理解向上を促す。

課題

地域固有の魅力ある風情や周辺環境に合わせ、地域の特性に応じた景観づくりを進めていく必要があるのではないか。

▼第8回市民サロンでいただいた取組提案

- 地域の特性に応じて、新たに魅力ある景観を創り出す所と残す(保全する)所のメリハリをつけることが必要である。

課題

現状に合った土地利用方針を定める必要があるのではないか。

▼第8回市民サロンでいただいた取組提案

- 無秩序な宅地化の防止や、良好な住宅地を形成するために、敷地面積の最低限度を設定する規制を導入することなどを検討する。
- 現行都市計画マスタープランに位置づけられている土地利用構想の見直しを図る。
- 生活道路の安全性を確保するために、抜け道となっている道路の一方通行化の検討や、歩行者の利用環境の向上に向けた再整備など、交通環境の向上に向けた改善方を検討する。

課題

市民と行政の協働により、地域の特色ある緑を創り・育て・守る必要があるのではないか。

▼第8回市民サロンでいただいた取組提案

- 住宅地の緑を守っていくために、敷地内の緑化を義務づけるルールづくりを検討する。
- 住宅地の緑を増やすことは維持管理等を考慮すると限界があるため、公共空間の緑を増やす取組が必要である。
- 住宅地の緑を守っていくために、誰もが維持管理可能な大きくならない樹種を選定し、植栽していくような工夫が必要である。

課題

地域固有の魅力ある風情や周辺環境に合わせ、地域の特性に応じた景観づくりを進めていく必要があるのではないか。

▼第8回市民サロンでいただいた取組提案

- 住宅地において良好な景観を保全していくために、最低敷地面積の設定やミニ開発を禁止する条例の制定等の敷地の細分化を防ぐルールづくりが必要である。
- 良好な景観の住宅地を保全していくために、建築協定や緑化協定等のしっかりとしたルールづくりや空き家対策等を図る。

課題

河川・湧水の水環境整備に取り組む必要があるのではないか。

▼第8回市民サロンでいただいた取組提案

- 親水性のある水辺空間の保全・再整備や、景観の向上に取り組むとともに、環境保全の必要性を住民に対してPRしながら、環境保全の意識を育てていくことが必要である。

課題

地球温暖化防止・CO₂排出量抑制等の様々な環境問題対策につながる具体的な取組を検討する必要があるのではないか。

▼第8回市民サロンでいただいた取組提案

- 地球温暖化防止・CO₂排出量の抑制に向けて、太陽光パネル設置を促進させるとともに、周辺に悪影響を及ぼさない設置方法のルール化を一体的に行っていく必要がある。
- 地球温暖化防止・CO₂排出量の抑制に向けて、環境配慮に取り組む企業の育成や協力、住民の意識啓発に取り組む。
- 地球温暖化防止・CO₂排出量の抑制に向けて、自動車での移動を極力少なくしながら、自転車やミニバス等の公共交通の利用促進を図る。



《Aグループによる話し合いの様子》



《Bグループによる話し合いの様子》



《Cグループによる話し合いの様子》



《Dグループによる話し合いの様子》

Dグループ

課題

市民と行政の協働により、地域の特色ある緑を創り・育て・守る必要があるのではないか。

▼第8回市民サロンでいただいた取組提案

- 緑の減少などをはじめとした地域における様々な問題について、自分たちが住む地域の課題は、行政に頼らず、自治会など身近な地域の住民が主体となって解決していく必要がある。

課題

農地を保全する方策を検討する必要があるのではないか。

▼第8回市民サロンでいただいた取組提案

- 農地を保全するため、地域の農地の魅力をもっと知って頂くアピールの仕方、方法を考えていく必要がある。
- 農地を残していくためにも、農地活用や買取のための資金をフルにする仕組みやボランティアの参加も含め、維持・保全させていく仕組みが必要である。

課題

河川・湧水の水環境整備に取り組む必要があるのではないか。

▼第8回市民サロンでいただいた取組提案

- 河川の水質汚濁の問題を防ぐため、合流式下水道の一部を少しずつでも部分分流式に整備していく必要がある。

課題

地球温暖化防止・CO₂排出量抑制等の様々な環境問題対策につながる具体的な取組を検討する必要があるのではないか。

▼第8回市民サロンでいただいた取組提案

- エネルギーの問題を解決していくため、市でエネルギーの自立を目指し、地域で地産地消をしていく必要がある。
- 自転車の違法駐輪の問題を解決し、自転車利用を促進するため、駐輪場を商店街の近くに設置していくなど、利便性を向上させる必要がある。